

## 平成30年度第1回山都町総合教育会議 次第

日時：平成30年4月27日（金曜） 午後4時

会場：役場本庁舎2-2会議室

### 1. 開 会

### 2. 挨拶

### 3. 協 議

- ・議事録署名者の決定
- ・会議の公開、非公開の決定

#### (1) 教育委員会からの情報提供

- ・学校教育、生涯学習の努力目標
- ・児童生徒の推移

#### (2) その他

### 4. 閉 会

# 山都町教育大綱

## 策定の目的

平成27年度に策定した第2次山都町総合計画において、町民一人ひとりが山都町の人・食・技に磨きをかけ、将来に継承することにより、これらを『山の都』のものがたりとして紡ぎあげていくこと「輝く!!みんなでつくる『山の都』のものがたり」を将来像に掲げました。

「山都町教育大綱」は、この総合計画における教育分野の施策の実施にあたり、山都町総合教育会議において、本町の教育に関する総合的な施策の方向性をまとめ、もって充実した教育の振興に資するために策定します。

## 対象期間

本大綱の期間は、平成27年度から平成36年度の10年間とします。

## 大綱の柱

次の4つの柱を基本として、各分野の役割りや学校教育・生涯教育の努力目標（裏面）を掲げます。

### 学力の充実

子ども一人ひとりが「確かな学力」を身につける教育を目指します。

### 命を大切に作る心

人権尊重を基盤とし、いじめや差別を無くす教育を目指します。

### 郷土への誇り

郷土の歴史や文化を学び、誇りに思う人づくりを目指します。

### 夢の実現

21世紀をたくましく生き、夢と希望を育む教育を目指します。

## 各分野の役割り

### 【学校】

「学校」は、確かな学力や豊かな心、健やかな体など「生きる力」を身に付ける場です。また、地域に開かれた学校づくりを進める必要があります。

教育の質は、教職員の力量に負うところが大きく、「教える力」ばかりでなく、子どもの意欲や能力を「引き出す力」が求められています。

### 【家庭】

「家庭」は、教育の原点であり、出発点です。家庭は、子どもたちが成長する上で、最も多くの時間を過ごす場所であり、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通して、生活習慣など生きるために必要な多くのことを学んでいきます。保護者が親として成長することも期待されています。

### 【地域】

「地域」は、子どもたちが、伝統芸能や祭りなど様々な体験や住民等とのふれあいを通して、ふるさとの良さを感じ、主体性や豊かな人間性、社会性を身に付ける場として期待されています。

また、地域の方による伝承遊びや体験活動など、学校への協力や支援も求められています。

### 【行政】

「行政」は、本町の未来を担う子どもたちが郷土への愛着と誇りを持ち、郷土に住み続けたいという想いを抱くように努めます。また、住民一人ひとりが地域に関心を持ち、つながりを深め、関係者が連携して本町の豊かな自然や歴史・文化への理解を深める機会を創出するなど、全町一体となった取り組みを進めます。

## 学校教育における努力目標

郷土を愛し、命を大切にし、自ら学び考え、夢の実現を目指す人づくりを進め、「生きる力」を育む教育を推進し、主体的に学ぶ意欲と実践力を育成します。

児童生徒の育成に当たっては、一人ひとりを大切にすることを基本に、学校、家庭、地域との連携を図り、将来を担う人材を育てます。

### 1 「確かな学力」の育成 【知】

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、これらを活用する力を育成します。

### 2 「豊かな心」の育成 【徳】

夢や希望を持ち、公共の精神を尊び、人権意識を高め、自己実現のための力を育成します。

### 3 「健康教育」「安全教育」の推進 【体】

健康についての知識、理解を深め、体力向上を図ります。  
交通安全や犯罪被害防止等の知識を深め、危機回避能力を育成します。

### 4 「環境教育」「食育」の推進

学校教育活動全体を通じた環境教育の推進により環境保全に主体的に行動する実践的な態度や能力を育成します。

「食育」に関する指導の充実を図り、家庭、地域等との連携のもとに、地域産業や食文化の理解及び日常での実践力を高めます。

### 5 保・小・中・高連携の推進

保・小・中・高の連携を深め、学びの連続性を踏まえた教育活動を推進し、自己実現力を図り将来を担う人材を育成します。

### 6 特別支援教育の推進

交流及び共同学習の推進を図り、教職員の専門性の向上と支援体制の確立に努めます。

## 生涯学習における努力目標

人権尊重を基盤に、学校教育と社会教育の連携・融合を促進するとともに、関係機関・団体等との連携を密にし、住民参画の視点に立った生涯学習を推進します。

- 1 社会教育関係団体等の自主的、主体的な活動の促進を図るとともに、指導者の育成に努めます。
- 2 現にある課題（人権・環境・福祉・少子高齢化・国際化・情報化・男女共同参画・自主防災等）に住民が関心を持ち、行動に移すよう努めます。
- 3 高齢者の学習機会の拡充とともに、世代間交流をはじめとした高齢者の社会参加活動の促進を図ります。
- 4 中央公民館・地区公民館を核とした、公民館支館・分館の活動を支援するとともに、家庭・地域の教育力向上を支援します。
- 5 文化団体の活動を支援し、芸術文化活動を活発化するとともに、文化財の保存並びに整備と活用を図ります。
- 6 青少年健全育成団体等の組織強化及び事業活動を支援し、良好な環境の保持と非行防止活動を推進します。
- 7 同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対する住民啓発・教育の推進体制の充実及び指導者の育成を図ります。
- 8 子どもを含めた住民が本と親しめるよう図書館機能を充実させるとともに、読書機会の普及・提供を図ります。
- 9 体育協会・スポーツ推進委員会等と連携し、社会体育の振興を推進します。
- 10 生涯にわたる学習の機会を推進するために、社会教育施設の充実及び整備を図ります。
- 11 関係機関や団体等と連携し、子育て及び家庭教育の環境の向上を支援するとともに、生涯学習支援ボランティアの育成を図ります。

## 平成30年度 山都町教育委員会 学校教育努力目標

郷土を愛し、命を大切に、自ら学び考え、夢の実現を目指す人づくりを進め、「生きる力」を育む教育を推進し、主体的に学ぶ意欲と実践力を育成する。

児童生徒の育成に当たっては、一人一人を大切にすることを基本に、学校、家庭、地域との連携を図り、将来を担う人材を育てる。

### 【重点努力目標】

#### 1 「確かな学力」の育成 【知育】

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得とこれらを活用する力の育成

- (1) 「わかった・できた」「楽しかった」と実感のできる授業づくりのための指導方法の工夫改善に努める。
- (2) 学力向上検証改善サイクルを生かした授業改善を図るために、校内研修の充実を図る。
- (3) 学校間、家庭、地域との連携を図り、繰り返し学習ややり直しの補足的な学習など、基礎学力向上のための共通実践事項を明らかにして取り組む。また、読書活動の充実や家庭学習の量と質の向上を図り、学ぶ意欲を高めて学習習慣を身につけるよう創意工夫した指導を行う。
- (4) 小学校での教科「英語」の実施に伴い、小・中連携のもと、英語教育の一層の充実を図り、グローバル人材の育成を目指す。

#### 2 「豊かな心」の育成 【徳育】

夢や希望を持ち、公共の精神を尊び、人権意識を高め、自己実現のための力の育成

- (1) 同和問題を人権問題の重要な柱として捉え、様々な人権問題の解決のために、基本的認識を深め、実践的指導力を高め、差別意識の解消に向けた人権教育を推進する。
- (2) 体験学習等を通して、命を大切に、自然に対する畏敬の念、自他を大切に、郷土を愛する心の醸成に努めるとともに、ふるさと学習（山都学）の創造を進める。
- (3) 特別の教科「道徳」において、「熊本の心」等の効果的な活用を図り、道徳教育の充実を努める。
- (4) いじめや不登校、問題行動等の未然防止と解消に向け、児童生徒の有用感を育むとともに、心の居場所としての魅力ある学校、学級づくりに努める。

#### 3 「健やかな体」の育成 【体育】

健康についての知識、理解を深め、体力向上を図り、危機回避能力の育成

- (1) 自ら運動に親しむ資質や能力の育成と「体力向上プログラム」等を活用した体力の向上に努める。
- (2) 学校安全の充実を図り、アレルギー疾患への対応や危険予測・回避能力を高める安全教育に努める。

### 【努力目標】

#### 4 「環境教育」「食育」の推進

- (1) 教科等の特性に応じた環境に関する学習や「学校版環境 ISO」、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の一層の充実を図る。
- (2) 「食育」に関する指導の充実を図り、家庭、地域等との連携のもとに、地域産業や食文化の理解及び日常での実践力を高める。

#### 5 保・小・中・高連携の推進

- (1) 保・小・中・高連携により、学びの連続性を踏まえた教育活動を推進し、自己実現力を育成する。
- (2) 連携カリキュラムを活用した取り組みの推進に努める。

#### 6 特別支援教育の推進

- (1) 交流及び共同学習の推進並びにユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の工夫改善を図り、教職員の専門性の向上に努める。
- (2) 専門機関との連携をはかり、校内支援体制の確立・充実に努める。

#### 7 「防災教育」の推進

- (1) 校内組織体制を整え、防災についての知識、理解を高めるとともに、「熊本地震」の教訓を生かした教材の活用や活動の充実を図る。
- (2) 家庭や地域と連携して、防災に対する自発的、能動的な取り組みを進める。

#### 8 熊本版コミュニティ・スクールを生かした地域連携の推進

- (1) 学校地域づくり協議会等の組織の充実を図る。
- (2) 家庭や地域と連携して、基本的生活習慣等、学校の教育課題の解決に向けて取り組みを進める。
- (3) 町立図書館との連携を図りながら、学校図書館の整備・充実に努める。

## 平成30年度 山都町生涯学習努力目標

人権尊重を基盤に、学校教育と社会教育の連携・融合を促進するとともに、関係機関・団体等との連携を密にし、住民参画の視点に立った生涯学習を推進するために、次の項目を本町生涯学習の努力目標に定めます。

生涯学習は、町民が自己の充実や生活の向上のために自発的意志に基づき自己に適した手段・方法で生涯を通じて行うものであるから、住民参画の視点に立ち、各種団体との連携を密にして今後とも推進する。

また、学校教育での総合的な学習の時間や地域のゲストティチャーの取り組みと、社会教育での世代間交流事業の連携等の取り組みをさらに推進する。

### 1. 社会教育関係団体等の自主的、主体的な活動の促進を図るとともに、指導者の育成支援に努めます。

\*社会教育関係団体（公民館団体・女性の会・若者の会・PTA団体他）と教育委員会との関係は指導・監督ではなく、助言・支援の関係であり、関係団体の主体的な活動を支援・助言するとともに、後継者・指導者の育成を支援する。

### 2. 現代的課題（人権・環境・福祉・少子高齢化・国際化・情報化・男女共同参画等）に町民が関心を持ち、行動に移すよう努めます。

\*生涯学習では、町民の要求学習の支援と必要学習の推進が重要であるが、とりわけ必要学習の中で現代的課題について町民が関心を持つよう講座等を開設する。（高齢者学級・女性学級・IT講習会・人権を考える町民の集い・公民館活動・世代間交流事業他）

### 3. 高齢者の学習機会の拡充に努めるとともに、世代間交流をはじめとした高齢者の社会参加活動の促進に努めます。

\*各地区での高齢者学級（いきいき大学・和光教室・そよかぜ学級）講座の開設と参加者の拡充を図るとともに、世代間交流事業をはじめとした、高齢者と子どもたちとの交流事業やボランティア活動（通潤橋案内・読み聞かせ等）などの社会参加活動を推進する。

### 4. 中央公民館・地区公民館を核に、公民館支館・分館の活動を支援するとともに、家庭・地域の教育力を高めるよう努めます。

\*地域の生涯学習・コミュニティーの拠点である公民館支館・分館活動を中央公民館・地区公民館と連携して推進するとともに、家庭・地域の教育力の向上を目指す。

5. 文化団体の活動を支援し、芸術文化活動の推進に努めるとともに、文化財の保存並びに整備と活用に努めます。

\*文化協会をはじめとした文化団体の活動を支援し、ふれあいコンサートをはじめとした芸術文化活動の推進を図る。また、通潤橋をはじめ山都町の数多い文化財の保存と整備を行うとともに、保護思想の普及と保全、活用に努める。

6. 青少年健全育成団体等の組織強化及び事業活動を支援し、良好な環境と非行防止活動の推進に努めます。

\*各地区青少年健全育成町民会議の充実と取り組みの一元化を図りながら関係機関との連携を密にして、子ども達の健全育成の環境整備やネットワーク化を図る。

7. 人権・同和問題に対する町民啓発・教育を推進するとともに、推進体制の充実及び指導者の育成に努めます。

\*町同和教育推進協議会の充実を図るとともに、PTA などの各種団体での指導者育成及び人権を考える町民の集い等をはじめとした各種講演会・研修会の充実を図る。

8. 子どもをはじめ町民が、本とのよい出会いができるよう図書館機能を充実するとともに、読書活動の普及・活性化に努めます。

\*町民の自己充実を図るため町立図書館・各分館の内容・機能の拡充を図るとともに、公民館支館・分館及び学校図書との連携を図り、読書環境の整備と読書活動の普及・活性化に努める。

9. 体育協会・スポーツ推進委員会と連携し、社会体育の振興に努めます。

\*体育協会と連携した競技スポーツの充実と、スポーツ推進委員と連携したファミリースポーツや校区スポーツの拡充と、総合型スポーツクラブの推進に努める。

10. 生涯学習の推進を図るために、社会教育施設の充実及び整備に努めます。

\*公立及び自治公民館の整備、図書館及び分館の整備、町営体育館・グラウンド及び地区体育施設の計画的整備を図る。

11. 関係機関と連携して、子育て支援及び家庭教育の推進を図るとともに、生涯学習支援ボランティアの育成に努めます。

\*ブックスタート、子育て講演会、家庭教育講演会、図書館講演会、読み聞かせボランティア活動や学校支援ボランティア活動の取り組みなど、熊本県が定めた「くまもと家庭教育支援条例」の基本理念を実践化するために、生涯学習の成果を活用する生涯学習ボランティアの育成・組織化を進めることにより、関係機関と連携して子育て・家庭教育に関する事業の実施を図る。

(蘇陽小学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	35年度
1年生	14	11	8	11	7	7	9
2年生	11	14	11	8	11	7	7
3年生	13	11	14	11	8	11	7
4年生	15	13	11	14	11	8	11
5年生	11	15	13	11	14	11	8
6年生	13	11	15	13	11	14	11
合計	77	75	72	68	62	58	53

(蘇陽南小学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	35年度
1年生	14	13	12	14	10	12	14
2年生	11	14	13	12	14	10	12
3年生	15	11	14	13	12	14	10
4年生	13	15	11	14	13	12	14
5年生	8	13	15	11	14	13	12
6年生	17	8	13	15	11	14	13
合計	78	74	78	79	74	75	75

※H31年度新入学児童以降五ヶ瀬町からの委託児童は除く

【小学校 計】

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	86	79	94	68	73	69	78
2年生	102	86	79	94	68	73	69
3年生	98	102	86	79	94	68	73
4年生	107	98	102	86	79	94	68
5年生	94	107	98	102	86	79	94
6年生	100	94	107	98	102	86	79
合計	587	566	566	527	502	469	461

(矢部中学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	60	49	59	66	55	65	46
2年生	45	60	49	59	66	55	65
3年生	63	45	60	49	59	66	55
合計	168	154	168	174	180	186	166

(清和中学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	9	21	16	13	15	15	12
2年生	12	9	21	16	13	15	15
3年生	9	12	9	21	16	13	15
合計	30	42	46	50	44	43	42

(蘇陽中学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	20	30	19	28	28	22	28
2年生	31	20	30	19	28	28	22
3年生	22	31	20	30	19	28	28
合計	73	81	69	77	75	78	78

【中学校 計】

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	89	100	94	107	98	102	86
2年生	88	89	100	94	107	98	102
3年生	94	88	89	100	94	107	98
合計	271	277	283	301	299	307	286

蘇陽地区小学校児童数計

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	28	24	20	25	17	19	23
2年生	22	28	24	20	25	17	19
3年生	28	22	28	24	20	25	17
4年生	28	28	22	28	24	20	25
5年生	19	28	28	22	28	24	20
6年生	30	19	28	28	22	28	24
合計	155	149	150	147	136	133	128

山都町立小・中学校入学者の推移

(中島小学校)

【平成30年4月1日現在】

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	6	6	6	6	3	1	6
2年生	3	6	6	6	6	3	1
3年生	8	3	6	6	6	6	3
4年生	7	8	3	6	6	6	6
5年生	9	7	8	3	6	6	6
6年生	5	9	7	8	3	6	6
合計	38	39	36	35	30	28	28

(矢部小学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	29	28	36	19	29	24	27
2年生	44	29	28	36	19	29	24
3年生	36	44	29	28	36	19	29
4年生	41	36	44	29	28	36	19
5年生	33	41	36	44	29	28	36
6年生	34	33	41	36	44	29	28
合計	217	211	214	192	185	165	163

(御岳小学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	4	1	4	4	3	3	5
2年生	7	4	1	4	4	3	3
3年生	1	7	4	1	4	4	3
4年生	5	1	7	4	1	4	4
5年生	8	5	1	7	4	1	4
6年生	3	8	5	1	7	4	1
合計	28	26	22	21	23	19	20

(潤徳小学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	7	2	8	5	8	6	7
2年生	11	7	2	8	5	8	6
3年生	10	11	7	2	8	5	8
4年生	13	10	11	7	2	8	5
5年生	9	13	10	11	7	2	8
6年生	7	9	13	10	11	7	2
合計	57	52	51	43	41	36	36

(清和小学校)

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	12	18	20	9	13	16	10
2年生	15	12	18	20	9	13	16
3年生	15	15	12	18	20	9	13
4年生	13	15	15	12	18	20	9
5年生	16	13	15	15	12	18	20
6年生	21	16	13	15	15	12	18
合計	92	89	93	89	87	88	86

矢部地区小学校児童数計

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	46	37	54	34	43	34	45
2年生	65	46	37	54	34	43	34
3年生	55	65	46	37	54	34	43
4年生	66	55	65	46	37	54	34
5年生	59	66	55	65	46	37	54
6年生	49	59	66	55	65	46	37
合計	340	328	323	291	279	248	247

清和地区小学校児童数計

	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	12	18	20	9	13	16	10
2年生	15	12	18	20	9	13	16
3年生	15	15	12	18	20	9	13
4年生	13	15	15	12	18	20	9
5年生	16	13	15	15	12	18	20
6年生	21	16	13	15	15	12	18
合計	92	89	93	89	87	88	86